エコアクション２１

環境経営レポート

2023年度

運用期間　2023年4月1日～2024年3月31日

有限会社大木場産業

2024年4月30日　発行

【 目 次 】

表 紙 …1

目 次 …2

1. 事業概要 …3～5

1〕事業者名及び代表者名
2〕所在地
3〕環境管理責任者及び事務局及び連絡先
4〕法人設立年月日及び資本金
5〕対象範囲
6〕事業規模
7〕推進組織図
8)許可の内容及び施設の状況
9)マティリアルフロー
10)受託した産業廃棄物収集運搬の実績及び運搬料金

2. 環境経営方針 …6

3. 環境経営目標 …7

4. 環境経営目標の実績 …8

5. 環境経営計画とその取組結果及び評価 …9

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画 …10

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 …11

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果 …11

1. 事業概要

1）事業者名及び代表者名

有限会社　大木場産業
代表取締役　大木場富士夫

2）所在地

本社　　：　〒889-4301　宮崎県えびの市大字原田1861番地43
土場　　：　〒889-4301　宮崎県えびの市大字原田1861番地43
中間処理場　：　〒889-4301　宮崎県えびの市大字原田字田原陣1861-34
最終処分場　：　〒889-4302　宮崎県えびの市大字末永字陣ノ迫2386-1

3）環境管理責任者及び事務局及び連絡先

EA－21　責任者　：　総務部　　大木場智美
EA－21　事務局　：　総務部　　大木場智美

連絡担当者　：　大木場智美　（EA21責任者）
TEL　0984－33－4439　　FAX　0984－33－0464
E-meil　:upepo@oregano.ocn.ne.jp
HP：http://www.ookoba-sangyo.com/

4）法人設立年月日及び資本金

設立　平成 4年　 7月　 1日〔設立より　31年〕　　資本金　3百万円　★

5）対象範囲・・・〔全組織・全活動〕

組織・・・　本社・土場・中間処理場・最終処分場
活動・・・　建設業　（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業）

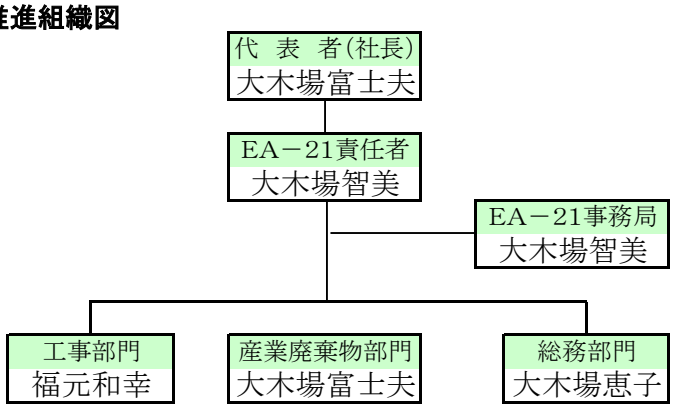
産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業（中間処理・最終処分）

レポート対象期間　　表紙に掲載
レポート発行日　　表紙に掲載

6）事業規模

項目	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
工事件数〔建設部〕	件	8	9	7	7
売上高〔建設部〕	百万円	136	197	230	214
処理高〔産廃部〕	t	5724.95	6888.5	8112.8	6835.7
売上高〔産廃部〕	百万円	9	12	14	16
従業員数	人	11	11	11	11
床面積	m2	60	60	60	60
敷地面積	m2	450	450	450	450

7）推進組織図



8）許可の内容及び施設の状況

①産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号	宮崎県　《第04514038334号》
積替え・保管の有無	あり（面積　104.75㎡　保管上限　100.9㎥）
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類　紙くず　木くず　繊維くず ゴムくず　金属くず　ガラスくず ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず がれき類
許可年月日	令和3年3月27日
許可の有効年月日	令和8年3月26日

②産業廃棄物処分業許可証

許可番号	宮崎県　《第04544038334号》
事業の区分	中間処理業（破砕）最終処分業（安定型埋立）
産業廃棄物の種類	● 中間処理業〔破砕〕に係るもの 木くず　繊維くず　がれき類 ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず ● 最終処分業〔安定型埋立〕に係るもの がれき類　金属くず　ゴムくず　ガラスくず　コンクリートくず及び陶磁器くず　廃プラスチック　石綿含有廃棄物
許可年月日	令和3年3月27日
許可の有効年月日	令和8年3月26日

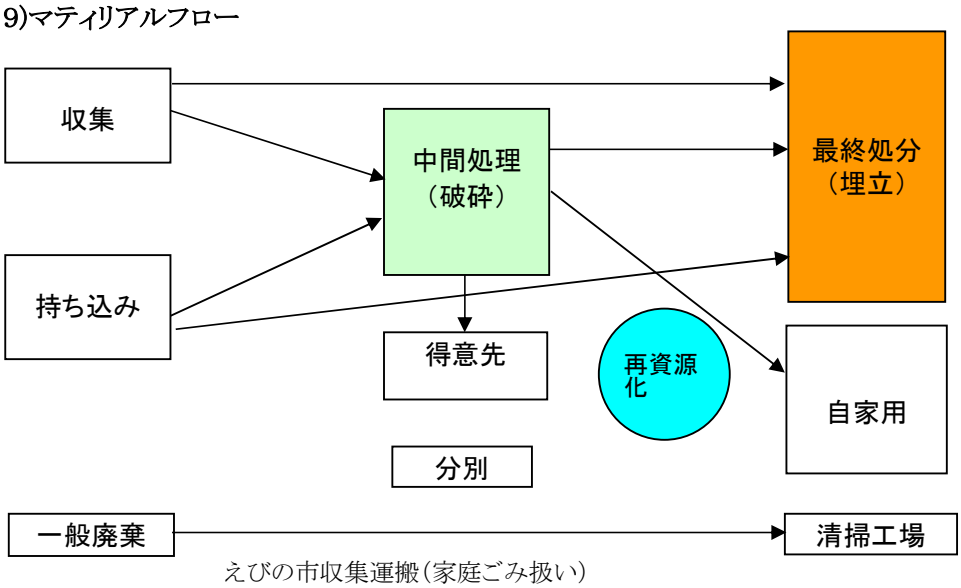
≪処理施設・処理能力　≫

中間処理(破砕)	
種類	木くず　繊維くず　がれき類　ガラスくず　コンクリートくず及び陶磁器くず
処理能力	がれき類：　400t／日〔8時間〕 木くず：　18．24t／日〔8時間〕
最終処分(埋立)	
種類	がれき類　金属くず　ゴムくず　ガラスくず　コンクリートくず及び陶磁器くず　廃プラスチック　石綿含有廃棄物
埋立面積	12,606.8 m2
埋立容量	61,707.6 m^3
残容量	43,984.4 m^3

③事業の用に供する車輌

			用途〔○　使用　×　未使用〕	
登録番号	トン数	車両名	収集運搬業用	処分業用
宮崎100せ1879	3.50t	ダンプ	○	○
宮崎400た2561	2.00t	ダンプ	○	○
宮崎100は3268	9.00t	ダンプ	○	○
宮崎130さ2805	8.50t	ダンプ	○	○
宮崎480せ4703	0.35t	ダンプ	○	○
宮崎100す230	2.75t	キャブオーバ	○	○
宮崎130す3101	8.30t	ダンプ	○	○
宮崎400ち2162	2.00t	ダンプ	○	○

9)マティリアルフロー



えびの市収集運搬（家庭ごみ扱い）

10) 受託した産業廃棄物の収集運搬の実績及び運搬料金

①収集運搬、処分実績

2023年(2023年04月　～2024年03月)

処理方法等		廃棄物等の処理**処分方法等**		処理量t
収集運搬		(コンクリート)		540.45
		(アスファルト)		211.44
		(木くず)		31.49
		(廃プラ)		3.55
		(ガラス・陶磁器くず)		35.26
		(石綿含有廃棄物)		2.23
		(その他がれき類)		57.79
		(石膏ボード・建設汚泥等)		197.03
収集運搬量合計				1,079.24
中間処理		コンクリート	(破砕)	3,468.22
		アスファルト	(破砕)	1,252.09
		ガラス陶磁器くず	(破砕)	744.00
		その他がれき類	(破砕)	1,152.63
		木くず	(破砕)	26.13
	うち再資源化等	コンクリート	(破砕)	3,468.22
		アスファルト	(破砕)	1,252.09
		ガラス陶磁器くず	(破砕)	744.00
		その他がれき類	(破砕)	1,152.63
		木くず	(破砕)	26.13
		再資源化等量小計		6,643.07
中間処理合計				6,643.07
最終処分		廃プラ	(安定型最終処分場　)	113.97
		混合廃棄物	(安定型最終処分場　)	16.62
		石綿含有廃棄物	(安定型最終処分場　)	55.04
		金属くず	(安定型最終処分場　)	0.29
		ガラス陶磁器くず	(安定型最終処分場　)	2.67
		コンクリート・アスファルト	(安定型最終処分場　)	4.06
最終処分合計				192.65
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	(がれき類)	(管理型最終処分場(委託))	0.00
	再資源化等	コンクリート・アスファルト	(路盤材として再生利用(売却・自社利用)	0.00
		がれき類	(路盤材として再生利用(売却・自社利用)	0.00
		木くず	チップ	0.00
		再資源化等量小計		0.00
中間処理後処分量合計				0.00

②運搬料金

廃棄物の性状・容量及び運搬距離等を考慮し、お見積りいたします。（見積り無料）

2. 環境経営方針

環　境　経　営　方　針

当社は　建設工事業　産業廃棄物処分業を行う事業所として
法令順守を徹底し、常に良好な環境をめざして全社一丸となって
取り組みます。

1. 当社は、建設業及び産業廃棄物処理業を通じて、環境マネジメントシステムを
構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的改善に努めます。

2. 関連する事業の法令順守の周知徹底に努めます。

3. 事業において環境負荷の軽減のため以下の事項に優先的に取り組みます。

①省エネルギーにより、二酸化炭素削減に取り組みます
②建設現場から排出される産業廃棄物の分別徹底と適正処理に努めます。
③節水により、排水量の削減に努めます。
④工事事業においては環境に配慮した施工計画等を積極的に提案します
⑤受託した産業廃棄物の再資源化に取り組みリサイクル率の向上に努めます。

4. 環境ボランティア活動に積極的に参加し、環境美化に努めます。

5. 人材不足や社員の高齢化が進む中で、若手社員の育成に努めます。

この環境経営方針を全社員に周知徹底を図るとともに、意識向上に取り組みます。

2010年3月19日　制定
2012年5月1日　改定
2020年5月1日　改定
2022年5月1日　改定
有限会社大木場産業
代表取締役　大木場富士夫

3. 環 境 経 営 目 標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
なお、目標設定の基準は2019年度の実績データーを使用しています。

取組み項目（目標項目）（単位）		実施区	年度別環境目標 基準値（2019年度）	2022年度（2022年04月～2023年03月）	2023年度（2023年04月～2024年03月）	2024年度（2024年04月～2025年03月）
1. 二酸化炭素排出量の削減（kg-CO_2）		事務所	26,294.7	25,900.3	25,768.8	25,637.4
		現場	102,325.6	100,790.7	100,279.1	99,767.4
		産廃	48,464.8	47,737.8	47,495.5	47,253.2
		全社	177,085.1	174,428.8	173,543.4	172,658.0
	①電気使用量の削減（総電気使用）（kWh）		削減率⇒	1.5%削減	2%削減	2.5%削減
		事務所	9,597.0	9,453.0	9,405.1	9,357.1
		現場	2,852.0	2,809.2	2,795.0	2,780.7
		全社	12,449.0	12,262.2	12,200.1	12,137.8
	②ガソリン使用量の削減（L）		削減率⇒	1.5%削減	2%削減	2.5%削減
		事務所	1,358.8	1,338.4	1,331.6	1,324.8
		現場	4,253.3	4,189.5	4,168.2	4,147.0
		全社	5,612.1	5,527.9	5,499.8	5,471.8
	③軽油使用量の削減（L）*現場は、2021年度実績を採用		削減率⇒	1.5%削減	2%削減	2.5%削減
		事務所	7,184.4	7,076.6	7,040.7	7,004.8
		現場	35,305.8	34,776.2	34,599.7	34,423.2
		産廃※	18,784.8	18,503.0	18,409.1	18,315.2
		全社	61,275.0	60,355.8	60,049.5	59,743.2
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減（kg）		削減率⇒	1.5%削減	2%削減	2.5%削減
		全社	344.2	339.0	337.3	335.6
	②. 建設副産物再資源化率の向上	現場	総排出量 1161.7t リサイクル率	環境経営計画を遵守し、リサイクル率95%以上に努力する		
	③. 受託廃棄物の中間処理〔再資源化〕率向上	産廃	処理量 5829.8t リサイクル率	リサイクル率の向上 90%以上		
3. 水資源使用量の削減（年間水資源総使用量）（ m^3）				自然水利用のため節水		
		事務所	自然水利用のため未把	節水	節水	節水
		現場		節水	節水	節水
		全体		節水	節水	節水
4. 環境保全の取組推進（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の実施）		全体	4回	4回/年	4回/年	4回/年
5. 環境型製品・サービスの提供		全社	環境経営計画を遵守	環境経営計画を遵守する。		
6. 若手社員の育成		全社	環境経営計画を遵守	環境経営計画を遵守する。		

*2022.5.1 改訂点 ・2019年度の実績を基準値として第五次中期目標を設定した。
・電気のCO2排出係数は2022(R04).1.7環境省公表九州電力の調整後の排出係数0.480(kg-CO2/kWh)を使用。
・課題とチャンスに対応するため、6. 若手社員の育成を追加しました。

*2023.5.1 改訂点 ・特に改訂はありません。

★化学物質(PRTR制度対象物質)の使用、購入、保管、移動ともありません。
★二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定した（ 排出量(kg-CO2) = 使用量(A) × 排出係数(B) ）

	単位		使用量(A)	排出係数 (B)	
購入電力	kWh			0.480	(kg-CO_2/kWh)
ガソリン	L			2.32	(kg-CO_2/L)
軽油	L			2.58	(kg-CO_2/L)

4. 環境経営目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。
1. 実績値は、2023年4月～2024年3月までの1年間で、目標値は基準年度(2019年度実績)の同期間の削減率とする。

取組項目			実施区	2023年度目標値(2023年04月～2024年03月)	2023年度実績(2023年04月～2024年03月)	達成率	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減($kg-CO_2$)		2.0%削減	事務所	25,768.8	9,714.2	265.3%	○
			現場	100,279.1	99,147.1	101.1%	○
			産廃	47,495.5	49,817.7	95.3%	×
			全社	173,543.4	158,679.0	109.4%	○
	①電気使用量の削減(kWh)	2.0%削減	事務所	9,405.1	4,512.0	208.4%	○
			現場	2,795.0	777.0	359.7%	○
			全社	12,200.1	5,289.0	230.7%	○
	②ガソリン使用量の削減(L)	2.0%削減	事務所	1,331.6	1,241.7	107.2%	○
			現場	4,168.2	3,536.2	117.9%	○
			全社	5,499.8	4,777.9	115.1%	○
	③軽油使用量の削減(L)	2.0%削減	事務所	7,040.7	1,809.2	389.2%	○
			現場	34,599.7	35,104.7	98.6%	×
			産廃	18,409.1	19,309.2	95.3%	×
			全社	60,049.5	56,223.1	106.8%	○
2.廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	2.0%削減	全社	337.3	380.8	88.6%	×
	②建設副産物再資源化率の向上	環境経営計画の遵守とリサイクル率95%以上に努力する。		環境経営計画の遵守とリサイクル率95%以上	遵守済み〔リサイクル率 72.5 % 再資源化量 524.71t〕	76.3%	×
	③受託廃棄物の中間処理率の向上	受託廃棄物のリサイクル率向上		90%以上	97.20%	102.3%	○
3. 水資源使用量の削減(m^3)		自然水利用のため節水		節水	節水	ー	○
4. 環境保全の取組推進(ボランティア活動の実施)		①事務所周辺の清掃 ②現場周辺の清掃 ③環境ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動		4回／年	5回	125.0%	○
5. 環境配慮型製品・サービスの提供		①研究会・講習への参加 ②環境配慮の重機等の購入 ③環境配慮型工法施工の提案		環境経営計画の遵守	遵守	ー	○
6. 若手社員の育成		①技術向上に関する研究・講習への参加 ③各種資格の取得によるスキル向上		環境経営計画の遵守	遵守	ー	○

※ 達成率は、項目1～3が、目標／実績、項目4～5が実績／目標で、100%以上が達成です。
※ 購入電力のCO_2排出係数は、2022年1月7日公表の九州電力の調整後係数0.480(kg-CO2/kWh)を使用しました。

5. 環境経営計画とその取組結果及び評価

2023年4月～2024年3月の環境経営計画とその取組結果及び評価は下記の通りです。

*実施ｽｹｼﾞｭｰﾙは、4月から翌年3月です。

取組項目		活動内容	取組結果	評価
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減	①休憩時の電気消灯　LED照明への移行 ②空調温度管理（夏季28℃　冬季23℃） ③パソコンのオート電源オフ設定 ④クールビズ・ウォームビズの実施	前年度と比べても事務所・現場ともに目標を達成できている。	○ ○ ○ ○
	②ガソリン使用量の削減	① 過積載を行わない ②急加速・急発進等の禁止 ③目的地へのルート設定　効率の良い配車	多少の変動はあるものの全体的に目標を達成できているのでこのまま活動を継続していきたい	○ ○ ○
	③軽油使用量の削減	①　エコドライブの徹底 （ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟや急加速等の禁止） ②車両管理の徹底（タイヤ空気圧等） ③重機の定期点検整備の実施	現場にいて目標未達成が見受けられる。工事の受注状況による変動と思われるので活動を継続していきたい。	○ ○ ○
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①　ゴミの分別徹底 ②　裏紙利用の徹底 ③　文房具の再利用 ④　複数枚印刷を1枚にまとめて印刷	事務所リフォームに伴う一般廃棄物の排出が多かった。ゴミの分別等は徹底できているので排出量を削減できるよう活動していきたい。	○ ○ ○ ○
	②建設副産物再資源化率の向上(%)	①マニフェストの即時起票 ②すべての建設副産物は決められた方法（仕様書通り)で廃棄する （安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙによる確認） ③排出先（ﾘｻｲｸﾙ業者）の選定と確認	分別徹底のほかリサイクル業者は優良産廃処理業者からの選定を積極的に行っている。	○ ○ ○
	③受託廃棄物の中間処理〔再資源化〕率向上	①マニフェストの即時起票 ②処分場での分別徹底 ③受入時の廃棄物種類の確認徹底	持ち込み業者へは産廃の分別徹底呼びかけのほか口頭にて分別徹底を呼びかけている。	○ ○ ○
3. 水資源使用量の削減（年間水資源総使用量）		①定期的な漏水点検 ②エコ洗剤（重曹・クエン酸）の利用 ③ポスター掲示による節水呼びかけ	ポスターで節水を呼び掛けている。	○ ○ ○
4. 環境保全の取組推進（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の実施）		①事務所周辺の清掃活動 ②非営利団体への寄付活動（ペットボトルキャップ等） ③地域ボランティア活動参加	建設業協会を通じてボランティア活動に参加できているが今後は自主的に活動に参加していきたい。	
5. 環境型製品・サービスの提供		①環境に関する研究・講習への参加 ②環境に配慮した重機等の購入 リース活用 ③環境配慮型工法施工の提案	環境に関する工法研修会への参加のほか低燃費・低騒音型の重機の購入も行っている。	○ ○ ○
6. 若手社員の育成（課題とチャンス対応）		①技術向上に関する研究・講習への参加 ②各種資格の取得によるスキル向上	資格取得や資格取得後の講習に積極的に参加できている。	○ ○

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画取組内容

次年度〔2024年度〕の環境経営目標と環境経営計画は、下記の通り取組みます。
尚、環境経営目標の詳細は、7ページの3. 環境経営目標に掲載しています。

実施ｽｹｼﾞｭｰﾙの年間とは、4月から翌年3月です。

次年度の環境経営計画				
取組項目／全社目標は次年度目標		活動内容	推進責任者	実施ｽｹｼﾞｭｰﾙ
1. 二酸化炭素排出量の削減 【全社CO2） 172,658 kg-CO2】		①省エネ活動の推進	EA21 責任者	①年間
省エネルギー項目	①電気使用量の削減 【全社目標： 12,137.8 kWh】	①休憩時の電気消灯　LED照明への移行 ②空調温度管理（夏季28℃　冬季20℃） ③パソコンのオート電源オフ設定 ④クールビズ・ウォームビズの実施	大木場智美	①年間 ②6～9月 12～3月 ③年間 ④6～9月 12～3月
	②ガソリン使用量の削減 【全社目標： 5,471.8　L】	①　過積載を行わない ②　急加速・急発進等の禁止 ③　乗り合わせを積極的に行う。	大木場富士夫	①年間 ②年間 ③年間
	③軽油使用量の削減 【全社目標： 59,743.2　L】	①　エコドライブの徹底（アイドリングストップや急加速等の禁止） ②車両管理の徹底（タイヤ空気圧等） ③重機の定期点検整備の実施	福元和幸	①年間 ②年間 ③年間
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減 【全社目標：　335.6 kg】	①　ごみの分別徹底 ②　裏紙利用の徹底 ③　ファイル等の再利用 ④　両面印刷等を励行	大木場恵子	①年間 ②年間 ③年間 ④年間
	②建設副産物再資源化率の向上　（95%） 【全社目標：環境経営計画の遵守】	①マニフェストの即時起票 ②すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する（安全パトロールによる確認） ③排出先（優良事業者）の選定と確認	大木場智美	①年間 ②年間 ③年間
	③受託廃棄物の中間処理〔再資源化〕率向上 【全社目標：ﾘｻｲｸﾙ90%以上】	①マニフェストの即時起票 ②処分場での分別徹底 ③受入時の廃棄物種類の確認　分別指導の徹底	大木場智美	①年間 ②年間 ③年間
3. 水資源使用量の削減 （年間水資源総使用量） 【全社目標：　節水】		①定期的な漏水点検 ②洗剤の適量使用を心がける ③ポスター掲示による節水呼びかけ	大木場智美	①年間 ②年間 ③年間
4. 環境保全の取組推進 （ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の実施） 【全社目標：　4回】		①事務所周辺の清掃活動 ②非営利団体への寄付活動（ペットボトルキャップ等） ③地域ボランティア活動参加	大木場智美	①隔月 ②随時に実施 ③随時に実施
5. 環境型製品・サービスの提供 【全社目標：環境経営計画の遵守】		①環境に関する研究・講習への参加 ②環境に配慮した重機等の購入 リース活用 ③環境配慮型工法施工の提案	大木場富士夫	①年間 ②随時実施 ③随時実施
6. 若手社員の育成 （課題とチャンス対応）		①技術向上に関する研究・講習への参加 ②各種資格の取得によるスキルの向上	大木場智美	①年間 ②年間

※　会社や社会の環境状況の変化で期間の途中でも見直すこともあります。

7.　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規制の遵守状況確認を毎年4回実施しており、違反はありませんでした。
また、地域住民からのクレーム及び訴訟等、及び監督官庁からの指摘もありませんでした。
尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。
※当社の事業に関係する主な環境関連法規は、毎年運用開始時に担当者がWeb(環境省ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの環境基準・法令等）の改定履歴や宮崎県建設業協会及び宮崎県産業資源循環協会のお知らせ等から見直しと取りまとめを行ってます。
〔当社の主な環境関連法規と遵守状況は下記の通りです。〕

主な関連法規名	遵守事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法(廃掃法)	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認（発行後B2,D票90日E票180日以内） A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
	産廃収集運搬及び処理業に関わる法令 （契約書の締結、契約書の保管、計量法、処理困難字の通知他 ）	遵守
再生資源利用省令	・再資源利用計画書・実施書の作成 ・再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
建設ﾘｻｲｸﾙ法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源化より得られた資材の使用	遵守
ﾌﾛﾝ排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用ｴｱｺﾝ等の簡易点検実施 （建設機械搭載のｴｱｺﾝを含む） 〔重機が対象〕	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守 該当工事なし
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守 該当工事なし

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示〔○当年度の評価、●次年度への指示〕
①環境経営計画の実施状況 及び 環境経営目標の達成状況	○環境経営計画の実施状況は、環境経営計画(兼)実施状況評価表によると、活動計画はほぼ実施されていることを確認した。 ただ活動状況と目標達成は工事の量や場所によっては繋がらないことを承知している。 ●次年度(2024年度)は、第五次中期の3年目となるので、再度活動内容を、全社員への周知していただきたい。 *----------* ○環境経営目標の達成状況は、環境目標実績管理表によると事務所の電気使用量が年間を通じて達成できており、他の項目では期間中は達成・未達があったが、年間では現場の軽油、産廃の軽油、一般廃棄物を除き目標をおおむね達成している。 産廃部においては昨年度より受け入れ量がやや減少しているが中間処理率においては年間を通じて目標を達成できている。 また若手育成・人材育成に関しては、資格未取得の社員に対しては重機等の資格取得を推進し、資格取得済みの社員に対しても特別教育や技能講習などに参加を促しスキルアップに努めている。
②環境関連法規等の遵守状況	○環境環境連法規の取り纏め(兼)遵守評価表で確認した、当社に関連する法規等を全て遵守している。 ●次年度も関連法規等を遵守して業務を進めていただきたい。
③外部からの環境に関する苦情や要望等	○環境情報記録表で確認した、当年度も苦情、クレームは皆無であった。ボランティア活動においては昨年と同等の参加回数であったが、いずれも所属協会の依頼をうけての活動である。 ●次年度も苦情等が発生したら優先的に対応とボランテイア活動は、コロナの影響を受けるが出来る範囲で参加していただきたい。
④環境経営方針	●現行方針を継続します。
⑤実施体制	●現行の実施体制(組織図)を継続します。
⑥環境経営システム全般 (その他全般)	特にありません。